

評価基準書

区分	項目	評価の視点	評価得点 (最低水準点)
(1) 業務の理解	①実施目的、業務の理解	趣旨や実施目的を十分に理解し、仕様書で示した内容に沿った提案がなされているか。	20 (8)
(2) 業務実績及び 業務執行体制	①事業者の業務実績	催事の企画運営や水道・下水道事業の広報活動業務の実績があり、本業務の履行に必要な知見、専門知識、ノウハウを有しているか。	50 (20)
	②執行体制について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務執行のための人員配置及び役割分担が適切か。</li> <li>・進捗確認など公営企業局との連絡・調整がすみやかに行える体制か。</li> <li>・問題発生時の適切な対応が考慮されているか。</li> </ul>	
(3) 企画書	①実施方針 (具体性・的確性・実効性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書の業務内容について、より詳細で具体的な内容を提案し、実現性の高いものとなっているか。</li> <li>・水道・下水道事業の PR に必要な事業の現状の認識や知識は的確か。</li> <li>・実施目的を達成するための業務遂行へのアプローチは的確か。</li> </ul>	210 (84)
	②テーマ設定、魅力、 集客力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチフレーズは、わかりやすく、実施目的にふさわしいものが提案されているか。</li> <li>・来場の動機となるような魅力的で、集客力のある提案があるか。</li> <li>・業務の組み立て、スケジュールは集客効果や来場者の導線に着目したものになっているか。</li> </ul>	
	③会場レイアウト・回遊性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者が分散できるレイアウトになっているか。</li> <li>・サインの設置は、効果的かつ適切な配置となっているか。</li> <li>・参加者が、会場内を回りながら、水道・下水道のことを考えたり、学んだりできるよう、回遊性を高める提案があるか。</li> </ul>	
	④イベント内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道・下水道に対する意識の向上につながるものか。</li> <li>・幅広い層が楽しめる工夫がされているか。</li> <li>・ステージイベントは賑わいや集客の柱となる内容が提案されているか。</li> <li>・各イベント同士で相互連携がされているか。</li> <li>・ノベルティや景品は、事業 PR や集客効果が高いものか。</li> </ul>	
	⑤SNS の普及促進	公式 Twitter のフォロワー数拡大につながるものとなっているか。	
	⑥広報	<p><b>【SNS】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な SNS の選択をしているか。</li> <li>・ターゲティングは適切か。</li> <li>・周知に有効なリーチ数やクリック数 (HP への誘導) が確保できる提案となっているか。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周知方法が効果的かつ合理的であるか。</li> </ul>	
	⑦独自提案	事業の実施目的を達成するために有効な提案となっているか。 (ただし、提案限度価格内で実施可能なもので、追加予算を必要としないものに限る。)	
(4) 価格	令和 5 年度の履行期間の委託料の総額 (消費税及び地方消費税を含む。)	{ 1 - 見積額 / 提案限度価格 } × 120 点 (小数点以下切捨て)	120
合計			400

※最低水準点は、区分単位で設定